

四 糧食及ビ酒保物品  
艦船乗組中乗員ニ準ジ支給スル。

二復補第一〇四七號

昭和二十二年六月二十六日

復員廳第二復員局補給部長

關係各廳長殿

糧食増給ニ關スル件中改正ノ件通牒

昭和二十一年三月六日官房需第八號中果實「シロップ」ノ項ノ  
次エ左記ノトヲリ追加スルコトニ定メラレタ。

記

果實罐詰 一〇〇瓦以内

生果物 二二〇瓦以内

(參照 昭和二十一年三月七日第二復員省公報)

○ 雜 款

○郵便物發送先

特別保管艦 輸第十六號 横須賀市田浦町

同 輸第十九號 横須賀管船部氣付

同 輸第十九號 東京都江東區豊洲

同 輸第十九號 石川島造船所内

試航船 榮昌丸 廣島縣糸崎郵便局氣付

0972

# 復員廳第二復員局公報

第一二二號

昭和二十二年七月二日(水)  
第二復員局文書課

○通牒

二復總第二二二號

昭和二十二年六月二十八日

復員廳第二復員局總務部長

各都道府縣(教育)民生部(局)長殿

舊地方世話部第二復員課長宛書類ノ宛名ヲ一

律ニスルコトニツイテ照會

舊地方世話部ガ、過般夫々都道府縣(教育)民生部(局)ニ編入サレタガ、舊第二復員課長ニ對スル新名稱ガ、地方ニヨツテ區々デアルトメ、各部ニ關係ノアル書類ヲ配付スル場合、連名ノ宛名ヲ用イルノニ一々正式ノ名稱ヲ連記スルコトハ困難デアルカラ、右ノ場合ハ、一律ニ、「民生部第二世話課長」ノ宛名ヲ用イルコトニ致シタイカラ了承願イマス。但シ、封筒ノ表書き及ビ單獨ニ、縣別ニ送付スルモノノ宛名ハ、正式ニ記註スルトニ致シマス。

二復總第二二八號

昭和二十二年六月三十日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

解撤艦艇引渡要領ノ一部改正ノ件通知

復員廳第二復員局公報 第一二二號 昭和二十二年七月二日

四月二十一日附二復總第一三八號(同月二十二日第二復員局公報)解撤艦艇引渡要領ノ一部ヲ次ノヨウニ改メラレタカラ了知サレタイ。

一 第四號ヲ次ノヨウニ改メル。

引渡ハ關係地方復員局長、引渡先所在ノ都道府縣知事、財務局長、海運局長、造船所長(又ハ解撤業者)又ハ夫々ノ代表者立會イノ上實施スル。

關係地方復員局長ハ引渡書(様式第一)ニ現狀調書(様式第二)及ビ引渡物件目録(様式第三)各一通ヲ添ヘ都道府縣知事ニ渡シソノ寫一通ヲ各引渡立會者ニ渡ス。

都道府縣知事カラ財務局ヲ經テ引渡ヲ受ケク造船所長(又ハ解撤業者)ハ領收書ヲ財務局長ニ差出シソノ寫一通ヲ各引渡立會者ニ差出ス。

調製書類、目録等ハ次ノヨウデアアル。

書類名		様式	通數	差出(渡)先	調製者
引渡書	様式第一	寫一	一	都道府縣知事	地方復員局長
			寫一	財務局長	
			寫一	造船所長(又ハ解撤業者)	
寫一	海運局長				

一三五

0973

領收書 様式第一 準スル	寫一	都道府縣知事	造船所 長又ハ 撤業者
	寫一	地方復員局長	
現狀調書 様式第二	寫一	都道府縣知事	地方復 員局長
	寫一	財務局長	
引渡物件 様式第三	寫一	都道府縣知事	同右
	寫一	財務局長	
陸揚物件 様式第四	寫一	海運局長	同右
	寫一	造船所長(又ハ解 撤業者)	
聯合軍引渡 物件目録 様式第五	二	第二復員局長	同右
様式第一 改メル。	二	同右	同右

様式第一  
引渡書  
(艦艇名)ヲ内務省ニ引渡シマス

但シ大藏省ヲ經テ〇〇造船所(〇〇組)ニ引渡シ  
ノ分  
昭和 年 月 日  
〇〇地方復員局長 氏 名 〇〇  
〇〇都道府縣知事 氏 名 〇〇  
立會人 〇〇財務局長 氏 名 〇〇  
〇〇造船所長(〇〇組) 氏 名 〇〇  
〇〇海運局長 氏 名 〇〇

〇轉官  
五月十日 運輸技官ニ轉官 復員事務官 熊井 安義

〇雜 款

0974

# 復員廳第二復員局公報

第二三三號

昭和二十二年七月七日(月)  
第二復員局文書課

## ○令 達

復二第四六〇號

昭和二十年內令第七號中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年六月二十六日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「竹生(佐)」ヲ削ル。  
下關掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「鶉來(佐)」ヲ削ル。  
阪神掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「生名(佐)」ヲ削ル。

(參照 昭和二十年三月六日第二復員省公報第一〇號)

復二第四六一號

佐世保地方復員局所管

掃海艦 新 南

右ヲ復員廳第二復員局掃海監部附屬トシタノヲ解ク。

昭和二十二年六月二十六日

復員廳總裁

復二第四六二號

佐世保地方復員局所管

復員廳第二復員局公報 第二三三號 昭和二十二年七月七日

右ヲ特別輸送艦ト改メル。

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦

竹

同 生

鶉

同 生

來

同 新

南

右ヲ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十二年六月二十六日

復員廳總裁

## ○通 牒

二復總第二三三號

昭和二十二年七月二日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

電波規正處理ニ關スル件照會

0975

首題ノ件ニツキ別紙ノ通り照會ガアツタカラ了知サレタイ。  
波監第一二一八〇號

昭和二十二年六月十九日

東京 遞信局 長

電波規正處理ニツイテ

(波監第五四一七號 二二一、八、二六) 關連  
(波監第四六一八號 二二二、三、一八)

電波ノ規正ニツイテハ、サキニ通知シタノデ種々御配意ノコトト存ジマスガ、規正電波ノ措置ニツイテハ連合軍總司令部カラノ頻イ要求モアルノデ、今後電波觀測所等カラ規正ノ指示ガアツク場合ハ直チニ相當措置スルト共ニソノ原因(特ニ責任ノ所在ヲ明瞭ニスルコト)ヲ詳細ニ調査シテ結果及ビ措置ノ經過ヲ指示ヲ受ケタ時間以內ニ電報又ハ電話デ左記ニ報告スルコトニナツタカラ貴關係ノ向キニ通達願イタイ。  
ナオ、ソノ措置ニ相當時日ヲ要スルモノ又ハ報告事項ガ複雑ナモノニツイテハ取りアエズ右時間內ニ一應報告シタ上、又ハ口頭ニテ詳細報告セシメラレタイ。

アテ先	場所	電	話	電報番號	備考
選信省	東京都港	丸ノ内(23)七六(直通)			夜間ハ中央電波觀測所アテ報告セラレ
電波規正部	區飯倉町	赤坂(48)二二六(代表)			波監第一二一八〇號
又ハ中央電波觀測所	埼玉縣岩槻町林道	岩槻 二二二〇		リンドウ ムセン	

第一番電(昭和二十二年七月二日發電済)

發 經理部長  
宛 部内一般

係給支給日特例ニ關スル件

七月分ノ恒例諸給與(暫定加給ノ臨時増給ハ六割トスル)(食料ヲ除ク)ノ支給日ハ七月三日ニ繰上ゲラル。

尙昭和二十二年六月十二日第一番電(六月十六日公報參照)中「四月分乃至六月」シ「四月分乃至七月」ニ改メル。

○ 雜 款

○事務所名稱變更

香川縣教育民生部第二世話課(封面ハ「香川縣第二世話課」ノコト)

香川縣高松市昭和町

復員廳第二復員局公報

第一二三號

昭和二十二年七月九日(水)

第二復員局文書課

○令 達

復二第四六六號

元驅逐艦 枅

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 雄 竹

元海防艦 宇 久

元第五百十號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元第二百七號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。  
昭和二十二年七月四日

復員廳總裁

復二第四六七號

元驅逐艦 枅

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。  
昭和二十二年七月五日

復員廳總裁

復二第四六八號

元驅逐艦 響

元第三十四號海防艦

元第五百五號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元第九十六號海防艦

元第二百二十七號海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元驅逐艦 樺

同 椎

元海防艦 占 守

右ヲ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

復員廳第二復員局公報 第一二三號 昭和二十二年七月九日

一三九

0977

昭和二十二年七月五日

復員廳總裁

復二第四六九號

元驅逐艦 雲 風

元海防艦 四 阪

元第十四號海防艦

右ノ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元驅逐艦 楓

元第九十四號海防艦

元第二百五號海防艦

右ノ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元驅逐艦 初 梅

元第六十七號海防艦

右ノ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十二年七月六日

復員廳總裁

○雜 談

○郵便物發送先

試航船 榮丸 自六月二十四日 下關掃海部徳山 至八月上旬 基地氣付

特別保管艦 海第十六號 八月上旬以降下關掃海部氣付  
横須賀市田浦町横須賀保管船部氣付

○事務所名稱變更

大阪府民生部第二世話課

大阪府東區馬場町

石川縣教育民生部第二世話課

金澤市下本多町(第一世話課現在ノ建物内ニ同居)

○改姓

昭和二十二年 奥野ニ改姓 復員事務官 柴田 正 (市報符 三九三三)

0978





右ニツイテ、別紙ノドオリ決定シタカラ通知スル。

豫算決算及ビ會計令第十七條第三項ニヨツテ  
大藏大臣ノ指定スル經費ニツイテ

(昭和二十二年六月十七日省議決定)

豫算決算及ビ會計令第十七條第三項ノ規定ニヨツテ、大藏大臣  
ノ承認ヲ經テケレバ、部局等内ノ同一項ノ經費ノウチデ、コレ  
ニ他ノ經費ノ金額ヲ流用シ又ハソノ經費ノ金額ヲ他ノ經費ニ流  
用スルコトガデキナイ經費シ次ノヨウニ指定スル。

- 一、超過勤務手当
- 二、賃金
- 三、賠償及ビ償還金
- 四、利子及ビ割引料
- 五、年金及ビ恩給
- 六、保険金
- 七、他會計へ繰入
- 八、貸付金
- 九、給與特別措置費

○ 雜 款

○事務所移轉

岩手縣教育民生部世話課第二復員係

盛岡市内丸五八番地ノ六

岩手縣世話課構内(電話盛岡一五九三)

# 復員廳第二復員局公報

第一二五號

昭和二十二年七月十四日(月)  
第二復員局文書課

○通 牒

復二第四八四號

昭和二十二年七月十一日

復員廳第二復員局長

各 廳 長 殿

署中半休ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り次官會議デ申合セガアツタカラ了知サレタイ。

(別紙)

(二二、七、三)  
次官會議

本年七月二十一日カラ八月三十一日マデノ署中半休ハ閣令ノトオリトスル。但シ、退廳時間後ノ連合軍關係ノ用務ソノ他緊要ナ用務ノ處理ニツキ支障ノナイヨウ居残り勤務ソノ他適當ノ措置(昭和二十一年六月十日内閣閣令第二〇七號通牒参照)ニヨリ遺憾ナキヲ期スルコト。

(参照)

閣令(官廳執務時間並休暇ニ關スル件)抄)

七月二十一日ヨリ八月三十一日迄

午前八時ヨリ午後十二時迄

官廳執務態勢ノ強化ニ關スル件(昭和二一、六、一〇)  
次官會議申合

(昭和二一、六、一〇)  
内閣閣令第二〇七號通牒

官廳執務態勢ノ強化ニツイテハ、各廳トモ既ニ客年十二月二十四日内閣閣令第五六六號及本年二月二十一日内閣閣令第四七號通牒ニヨツテ、ソレゾレ事務處理ニ支障ノナイヤウ措置シ居ルコトト思ハレルガ、退廳時間後又ハ休日、休日等ニ起ツタ聯合軍關係ノ用務其ノ他ノ緊要ナ事務ノ處理乃至連絡ニ支障ヲ來スコトノナイヤウニ、例ヘバ

- 一 主要部局ニハ必ず居残り勤務者又ハ休日、休日ノ當直者ヲ置クコト。
  - 二 居残り勤務者又ハ休日、休日ノ當直者ハ必ず事務處理能力ヲ有スル責任者ヲ選定シテコレニ當ラシムルコト。
  - 三 電話交換手ハ二部勤務又ハ三部勤務トスル等執務時間中ハ勿論、執務時間外ニオイテモ電話連絡ニ支障ヲ來サナイヤウニ措置スルコトヲ考慮スルコト。
- 等今後一層右通牒ノ趣旨ノ徹底ニツトメルコト。

二復經主第七號ノ三六

昭和二十二年七月七日

復員廳第二復員局公報 第一二五號

昭和二十二年七月十四日

一四三

0981

關係各廳長殿

復員廳第二復員局經理部長

鐵道貨ノ改正ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ運輸省ニオイテ本七日ヨリ鐵道貨ノ次ノヤウニ改正サレタカラソノヨウニ取計ワレタイ。

記

一 鐵道ノ大人普通旅客運賃ノ貨率ハ左ニヨル。

百五十斤以下ノ程	三等 三十五錢
每斤	二等 一回五錢
	一等 二回十錢
百五十一斤以上ノ程	三等 二十五錢
每斤	二等 七十五錢
	一等 一回五十錢

最低大人普通旅客運賃ハ三等一回、二等三回、一等六回

鐵道ノ大人普通旅客運賃ハ旅客ノ發着區間程ヲ前號ノ貨率ニ乘ジ合算シ端數ヲ左ニヨリ整理シタルモノトスル。

十回以下ノ額 二十四錢以下ハ切捨テ、二十五錢以上、七十四錢以下ハ五十錢ニ、七十五錢以上ハ一回ニ切上ゲル。

十回ヲ超エ百回以下ノ額 四十九錢以下ハ切捨テ、五十錢以上ハ一回ニ切上ゲル。

百回又超ユル額 二回四十九錢以下ハ切捨テ、二回五十錢以上七回四十九錢以下ハ五回ニ、七回五十錢以上

三 航路ノ大人ノ普通旅客運賃ハ左ニヨル。  
以上六十回ニ切上ゲル。

區分	三等	二等	一等
稚内—大泊港間	五六〇	一六八	四五五
青森—函館間	四〇〇	一一〇	三二四
宇野—高松間	二七〇	二二〇	〇〇〇
仁方—堀江間	二五〇	二二〇	〇〇〇
宮島口—宮島間	一一〇	〇〇〇	〇〇〇
大島—小松港間	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
下關—門司港間	二二〇	二四〇	〇〇〇
下關—釜山間	八〇〇	二四〇	六〇〇
博多港—釜山間	八〇〇	二四〇	六〇〇

四 前項ノ旅客運賃ニハ食費ヲ含マナイ。  
急行料金ハ左ニヨル。但シ小兒ニ對スル急行料金ハ半額トスル。

區分	三等	二等	一等
六百斤迄	五〇〇	一〇〇〇	一五〇〇
千二百斤迄	七五〇	一五〇〇	二二五〇
千二百一斤以上	一〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇

復員廳第二復員局公報

第一二六號

昭和二十二年七月十八日(金)

第二復員局文書課

〇令 達

復二第五〇〇號

元 驅逐艦 楠

同 萩

同 竹

元 海防艦 福江

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 波太

右ヲ特別輸送艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元 第八號 海防艦

元 第三十二號 海防艦

元 第五十五號 海防艦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十二年七月十六日

復員廳 總裁

〇通 牒

復員廳第二復員局公報 第一二六號 昭和二十二年七月十八日

復二第四八五號

昭和二十二年七月五日

復員廳第二復員局長

關係各廳長殿

海軍軍人軍屬逃亡者身上取扱ニ關スル件通牒

海軍軍人及軍屬デ、終戦前又ハ終戦後現地ニオイテ逃亡シタモノデ、ソノ身上取扱ニツキ未處理ノモノハ、昭和二十二年五月政令第五十二號又ハ同年五月復二第三九二號ニヨリ、同年五月三日ヲ以テソノ身分ヲ失ウト共ニ、現地ニオイテ解員又ハ整理サレタモノトスル。

前項ノ規定ニヨリ解員又ハ整理サレタ者ニ對シテハ、歸郷旅費及ビ雇員以下ノ退職手當ハ、支給シナイヨウニ定メラレタカラ承知サレタイ。

復二第四八六號

昭和二十二年六月二十五日

復員廳第二復員局長

關係各廳長殿

被服物品ノ貸與取扱改正ニ關スル件通牒

昭和二十二年四月二十四日附復二第三〇八號被服物品ノ貸與取

一四五

0983

扱ニ關スル件中次ノヨウニ改正サレタ。

一 左記中第五號ヲ第六號トシ以下順次繰下ゲ第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加エル。

五 前第二、三、四號ノ規定ニ對スル取扱整理ヲ明確ナラシメルタメ所轄長ハ(別表)ハノ表ヲ準備保管シ轉勤退職ノ場合ハ交付品トトモニ携行セシメルモノトスル。

二 (別表) (ロ) 次ニ別表ヲ加エル。  
(別表添)

0984

(ハ)

(昭和二十二年七月十八日復員廳第三復員局公報)

被服物品貸與(交付)表		官職		氏名	
昭和二十二年復員第三〇八號被服物品貸與標準(イ)表ニ依ル					
貸與標準	數量	品名	貸與(交付)内譯	數量	品名
貸與標準	數量	品名	貸與(交付)内譯	數量	品名
衣 袴	二組	軍衣 袴			雨 衣
衣 袴	二組	略衣 袴			カ ラ 一 個
帽 子	二個	下士官、軍樂兵、軍帽			靴 下
襦 袢 (夏袴袴 ヲ含ム)	三個	略 袴			手 拭
袴 下 (夏袴下 ヲ含ム)	三個	夏 袴			靴 下
靴 (編上靴 半長靴)	二組	夏 袴			作 業 手 袋
外 套	一個	夏 袴			襪
復員第三〇八號第一項第三號及第八號ニ依リ本人ニ交		昭和 年 月 日		主計長印	
現所轄長印		現所轄長印		現被服擔當者印	
異動後ノ所轄名		異動後ノ所轄長印		異動後ノ被服擔當者印	

備考 略靴及ビゴム底紺足袋ハ靴一組ニ對シ二組ノ割合トス。

0985

# 復員廳第二復員局公報

第一二七號

昭和二十二年七月二十六日(土)  
第二復員局文書課

## ○通 牒

復二第五一三號

昭和二十二年七月二十四日

復員廳第二復員局長

### 關係各廳長 殿

艦船ノ引渡業務ニ從事スル通譯ノ身上取扱ニ  
關スル件中一部改正ノ件通牒

復二第四四三號首題ノ件次ノヨウニ改正サレタ。

本文中「通譯」ノ下ニ「及ビ割烹手」ヲ加ヘル。

左記第一號(口)中(2)ヲ次ノヨウニ改メル。

(2) 毎回引渡終了後通譯ハ全員東京ニ出張シ業務報告並ビニ  
打合ヲ行フシメル(所要旅費中往路ハ歸投地ノ復員局、ソ  
ノ他ハ中央ニオイテ支給スル)

二復總第二五九號

昭和二十二年七月一日

復員廳第二復員局總務部長

### 關係各廳長 殿

横濱援護所ニ於ケル復員業務取扱ノ件通知

米軍管理下ノ外地ニ戰犯關係其ノ他特殊ノ事情ヲ殘留シテキル

復員廳第二復員局公報 第一二七號 昭和二十二年七月二十六日

邦人ノ受入業務ヲ實施スル爲メ設置サレタ引揚援護院横濱援護所  
(長濱檢疫所内)ニ於ケル復員業務ノ取扱ニ關シ左ノ通り定メラ  
レタカラ了知アリタイ。

- 一 横濱援護所ニ於ケル復員業務ハ横須賀地方復員局ノ管任ト  
スル。
- 二 横濱援護所ニ海軍關係ノ受入者ガアル場合横須賀地方復員  
局長ハ其ノ都度所要ノ人員ヲ同援護所ニ派遣シ復員業務ヲ處  
理スル。
- 三 横須賀地方復員局長ハ他所管ノ歸還者ニ關シ所要ノ事項ヲ  
關係地方復員局長ニ通報スル。
- 四 横濱援護所ニ於ケル歸還者ノ豫報ハ聯合軍司令部ヨリノ通  
知ニ基キ第二復員局總務部又ハ横濱援護所カラ之ヲ行フ。
- 五 第二號ノ派遣ニ要スル経費ハ第二復員局經理部長ニ協議ス  
ルモノトスル。

二復人扶第一六號ノ二二六

昭和二十二年七月十九日

復員廳第二復員局人事部長

復員廳第二復員局經理部長

各地方復員局人事部長  
各地方復員局經理部長  
各都道府縣第二世話課長 殿

0986

遺骨傳達委託ノ際ノ遺族給與金取扱ヒニ關スル件照會

首題給與金ノ取扱方ニ關シテハ自今別紙ニヨリ處理セラレタ

(別紙)

一 死亡賜金、葬祭料及ビ遺族出頭旅費(以下遺族給與金トイフ)ハ在籍ノ第二復員局經理部又ハ地方復員局經理部ニ於テ支出スルヲ建前トスル、但シ遺族方當該人事部ノ管外ニ居住ノタメ遺骨傳達ヲ委託スル場合ニハ當該經理部ハンノ受託經理部ニ遺族給與金ノ支給方ヲ未給通牒ニヨリ通牒スルモノトスル。

二 前號但書ニ該當スル場合在籍ノ經理部ニ於テ既ニ遺族給與金ノ支出済デアルガコレガ未交付ノモノアルトキハ當該給與金ノ種別金額ノ内譯書ヲ遺骨傳達式(委託)名簿ニ添付シ未交付金ハ受託經理部ニ送金スルコトガデキル。

三 受託應當該受給者名義給與金ノ送付シウケタル後遺族轉居等ノ事由ニヨツテ未交付ノママ更ニ委託換ヘヨラスルトキハソノ給與金ヲ名簿ニ添付ノ上交付方ヲ移牒スルコトガデキル。

四 第一號ノ給與金ハ死歿者ノ身分ニヨツテ一律ニ處理シ得ナイモノガアルノデ遺骨傳達式名簿ニハ左ノ事項ヲ漏レナク記入シ且ツコレガ送付並ビニ連絡事項ニハ充分日時ノ餘裕ヲオイテ當該經理部ノ支出事務ニ支障ノナイヤウニスルコト。

(イ) 支給スベキ給與金ノ種別及ビ金額

(ハ)(ロ) 身分(官職階)無報酬者ハソノ旨遺骨傳達ノ期日

二復經主第八號ノ三五〇

昭和二十二年七月二十四日

第二復員局經理部長

各地方復員局經理部長  
歳入徴收官  
支出納官(吏)殿

計算證明規則ニ依ル計算書ノ提出回数及ビ提出期限ニ關スル件通知  
首題ノ件別表ノ通り定メラレタカラ通知スル

(別表添)

〇 雜 款

○ 郵便物發送先

試航船 榮 昌 丸 岡山縣玉野郵便局氣付

○ 事務所設置、移轉

門司試航船基地設立準備事務所ヲ七月十日設置

下關市吉見町下關掃海部内

門司試航船基地設立準備事務所

石川縣教育民生部第二世話課

金澤市下木多町三番丁(第一世話課内)

電話金澤(五七〇二)

0987



(二)復經主第八號ノ三五〇別表)

(昭和二十二年七月二十六日復員廳第二復員局公報)

種別	提出回数	提出者	地方復員局 局長ニ提出期限	第二復員局 局長ニ送附期限	摘要
歳入徴収額計算書	年一回	歳入徴収官	自四月至六月ノ分七月十日限	自四月至六月ノ分七月二十日限	
収入金現金出納計算書	年一回	收入官吏	自七月至九月ノ分十月十日限	七月二十日限	
支出計算書	毎月	支出官吏	自一月至出納閉鎖期出納閉鎖後十日限	出納閉鎖後二十日限	
前渡資金出納計算書	毎月	資金前渡官吏	翌月十日限	翌月二十日限	
物品出納計算書	年一回	物品會計官吏	翌年度四月十日限	翌年度四月二十日限	袖給用物品及船舶修理用物品ノミ
物品出納報告書	年一回	物品會計官吏 經理部長	翌年度四月末日限	翌年度五月二十日限	前號物品ヲ除ク

0988

# 復員廳第二復員局公報

第一二八號

昭和二十二年七月三十日(水)  
第二復員局文書課

## ○令 達

復二第五一五號

第二復員部内掃海慰勞金支給規則中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年七月二十五日

復員廳 總裁

別表ヲ別表ノヨウニ改正スル。

附則

本令ハ昭和二十二年六月一日ヨリコレヲ適用スル。

區 分	金 額	
	試験航試航後 曳船航航乗員	同上以外掃 海艦船乗員
官吏(二級)部内限 待 遇 者	一、七〇〇圓以内	一〇、四〇〇圓以内
官吏(三級)部内限 同 待 遇 者	九、一〇〇圓以内	七、八〇〇圓以内
同 待 遇 者	七、八〇〇圓以内	六、五〇〇圓以内
備 掃海支部長及ビ艦船長ニハ本表ノ十分ノ二以内ヲ増給ス ルコトガデキル		

## ○通 牒

二復經主第七號ノ四三

昭和二十二年七月二十五日

關係各廳長殿

掃海慰勞金支給細目ニ關スル件申改  
正ノ件通牒

復員廳第二復員局經理部長

昭和二十一年六月二復經主第七號ノ六一掃海慰勞金支給細目ニ關スル件(同月十一日公報)中次ノヨウニ改正シ昭和二十二年六月一日ヨリコレヲ適用スル。

二 掃海慰勞金ハ勤務期間十四月未滿ハ別表第一、勤務期間十四月以上ハ別表第二ノ各支給率ニヨリコレヲ支給スル。

別表中「十二月以上」ヲ「十二月以上十四月未滿」ニ改メ「別表」ヲ「別表第一」ニ改メス。  
別表ノ次ニ別表ヲ加エル。

二復經主第二號ノ六九

昭和二十二年七月二十八日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

復員廳第二復員局歳入歳出事務取扱要領申  
部改正ノ件通牒

復員廳第二復員局公報 第一二八號 昭和二十二年七月三十日

一四九

0989

四月一日二復經主第二號ノ二五首題事務取扱要領別表第一計算報告書類表中豫算月頭報告ノ項ヲ削除シ、收入金現金出納計算

書及び前渡資金出納計算書ノ各項ノ次ノ通り改メラレタ。

種類	提出者	提出先	期限	備考
收入金現金 出納計算書	收入官吏	下檢査官吏 (所管地方經理部長)	自四月至六月ノ分 自七月至九月ノ分 自十月至十二月ノ分 自一月至十月ノ分 出納閉鎖後十日	計算證明規則第六號書式ニヨリ調製ノ上 證憑書類ヲ添ヘ提出スル。
前渡資金出納計算書	資金前渡官吏	下檢査官吏 (所管地方經理部長)	翌月十日	計算證明規則第四號書式ニヨリ調製ノ上 支拂證憑書類ヲ添ヘ提出スル。

(參照 昭和二十二年四月十八日第二復員局公報)

○雜 款

○事務所名稱變更

岡山縣民生部世話課第二復員科  
岡山市上伊福九四六(岡山縣廳内)

○郵便物發送先

特別保管艦 竹 生 横須賀市田浦町  
横須賀管船部氣付  
同 鶴 來 同  
同 生 名 横須賀市田浦局氣付

同 桐、萩、樺、横須賀市田浦町横須賀管船部内

初櫻、栲、葛 第二群殘務整理事務室

4800

0990

（二）復經主第七號ノ四三別表第二

掃海慰勞金支給標準

（昭和二十二年七月三十日復員廳第二復員局公報）

作業時間	等級別	支給標準					
		十四月以上	十六月以上	十八月以上	同上以外掃	同上以外掃	同上以外掃
二四〇〇時間以上	雇三三員級級	六七九 六七九 〇〇〇	一 七八〇 二四八 〇〇〇	一 七九一 八一七 〇〇〇	海艦船乘員	海艦船乘員	海艦船乘員
一九〇〇時間以上	雇三二員級級	六七八 五六八 〇〇〇	一 七八〇 〇二六 八六二 〇〇〇	一 七八〇 八一七 〇〇〇	同上以外掃	同上以外掃	同上以外掃
一四〇〇時間以上	雇三二員級級	五八八 八八八 〇〇〇	一 七八〇 三四五 六二四 〇〇〇	一 七八〇 八一七 〇〇〇	同上以外掃	同上以外掃	同上以外掃
九〇〇時間以上	雇三二員級級	五六七 二〇八 二九三 〇〇〇	一 七八〇 六五四 四八六 〇〇〇	一 七八〇 八一七 〇〇〇	同上以外掃	同上以外掃	同上以外掃
四〇〇時間以上	雇三二員級級	四五六 五三八 六二四 〇〇〇	一 七八〇 〇八三 四八八 〇〇〇	一 七八〇 八一七 〇〇〇	同上以外掃	同上以外掃	同上以外掃
四〇〇時間未滿	雇三二員級級	三四五 九五八 〇五五 〇〇〇	一 七八〇 二九三 五〇〇 〇〇〇	一 七八〇 八一七 〇〇〇	同上以外掃	同上以外掃	同上以外掃

0991